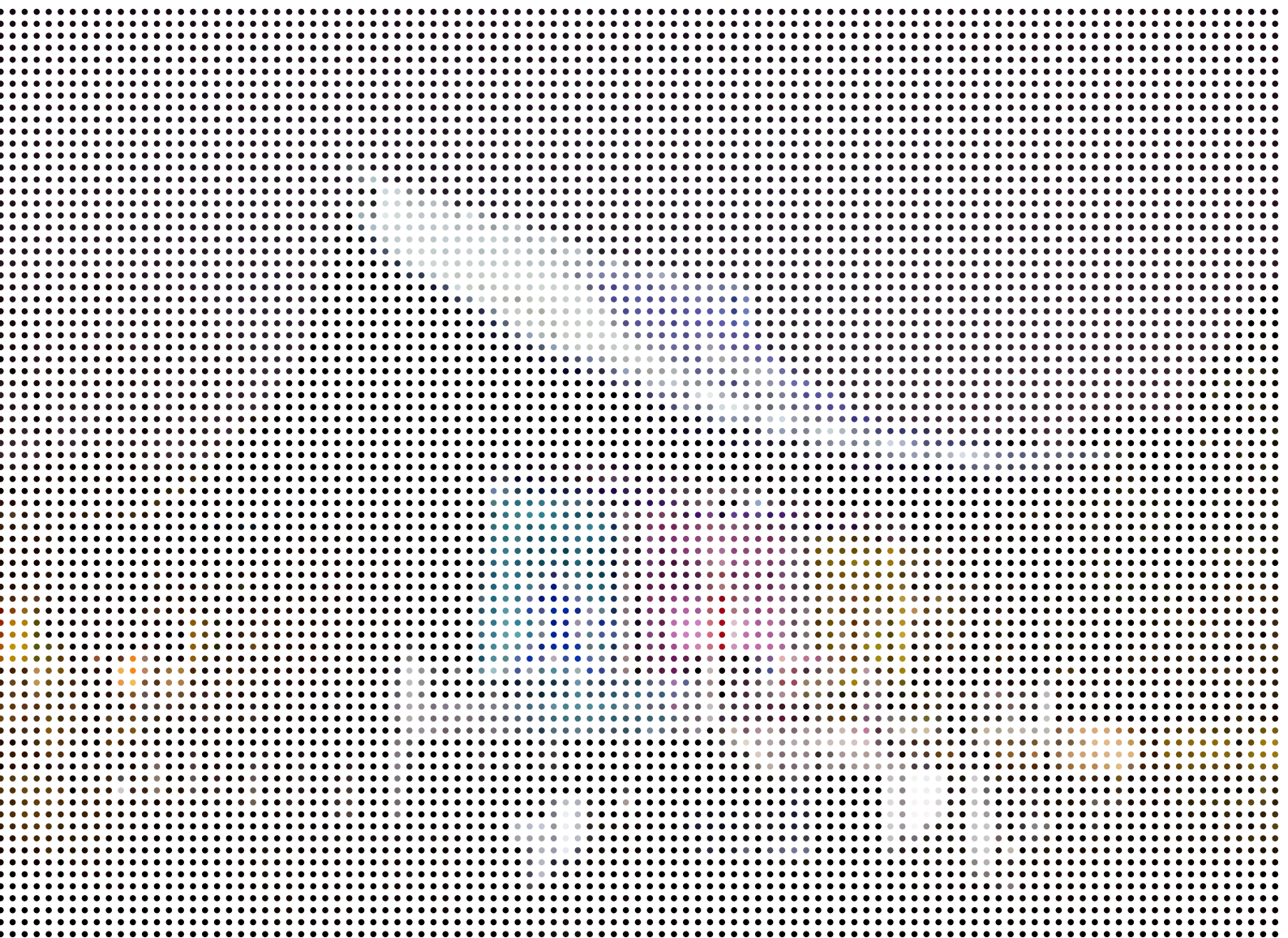


一般財団法人最先端表現技術利用推進協会

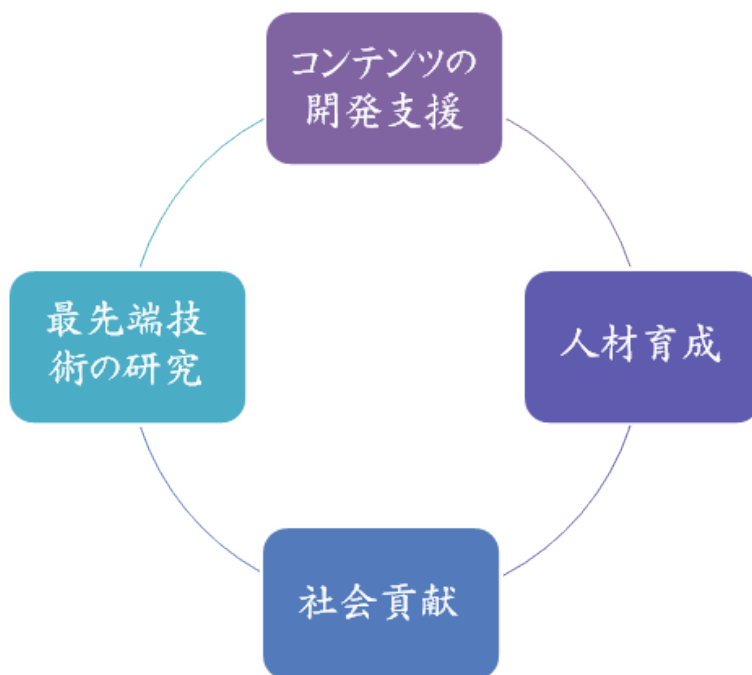
第4期事業報告書

(平成28年12月1日から平成29年11月30日まで)



基本方針

一般財団法人最先端表現技術利用推進協会は、最先端の表現技術の「調査」「研究」およびそれらを利活用した「コンテンツ開発」を支援することを目的に設立されて技術開発者・ユーザー・クリエイターなどの人材育成や表現技術の活用を通しての社会貢献活動。そして関連分野の枠を超えた英知を集結する事で今までにない新しい表現方法を構築する事を目標としています。



事業概要

最先端表現技術利用推進協会では事業を4分化し計画的に活動を行っています。

事業活動 1	普及・教育・啓蒙	非営利目的 1
・ 最新技術の利用促進セミナー,シンポジウムの開催 ・ コンテストの開催 ・ 展示会,学会等への参画		
事業活動 2	研究・開発	非営利目的 2
・ 地域や環境に関する調査研究		
事業活動 3	宣伝・広報	非営利目的 3
会員募集・公式サイト・SNS運営		
事業活動 4	コンサルティング業務	収益目的
・ 表現技術に関する資格試験の実施 ・ 最新技術を利用したプロジェクトの支援		

事業活動報告

非営利目的事業1-1 セミナー開催

●AR/S3D & VRセミナー

日 時：2017年2月9日（木）
開催場所：フォーラムエイト東京本社
セミナー名：「AR、S3Dの基礎知識と概要」
講師：町田聡
主催：フォーラムエイト



講義内容 ・VR、S3Dの基礎知識と概要 ・UC-win/RoadとVR-Cloud®について
・VR、S3Dのウェアラブルデバイス連携事例紹介 ・質疑応答

●3Dプロジェクションマッピング&VRセミナー

日 時：2017年3月22日（水）
開催場所：フォーラムエイト東京本社
セミナー名：「3Dプロジェクションマッピングの基礎知識と概要」
講師：町田聡
主催：フォーラムエイト

講義内容 ・プロジェクションマッピングの基礎知識・プロジェクションマッピングの定義・種類
・運用・関連法規や条例・地域活性と人材育成・多様な事例紹介

●URCF実空間メディアWGセミナー

日 時：2017年9月8日（金）
開催場所：フォーラムエイト東京本社
セミナー名：「実空間メディアを考える Vol.02」
講師：菅原啓／河合隆史／渡辺義浩／園田一磨／町田聡
共 催：URCF，表技協



- ・菅原啓氏「AR/VRヘッドセットの市場動向と海外のユースケース」
- ・河合隆史氏「HMDを中心とした没入型映像システムに関する戦略策定事業の成果概要」
- ・渡辺義浩氏「ビジョン・プロジェクトの高速化と実空間メディアの進化」
- ・園田一磨氏「理想を現実で確認するルームコーディネートアプリ”RoomCo AR”」
- ・町田聡「後援者と参加者によるラウンドテーブル」
- ・デモ:Tシャツへのプロジェクションマッピング, RoomCo AR

●3Dプロジェクションマッピング&VRセミナー

日 時：2017年11月1日（水）
開催場所：フォーラムエイト東京本社
セミナー名：「3Dプロジェクションマッピングの基礎知識と概要」
講師：町田聡
主催：フォーラムエイト

講義内容 ・プロジェクションマッピングの基礎知識・プロジェクションマッピングの定義・種類
・運用・関連法規や条例・地域活性と人材育成・多様な事例紹介



2017年11月1日（水）のセミナーでは「VRフレンズ」で取材され電気通信大学学生・タレント下津里恵さんが聴講されました。セミナー後、町田会長と下津里恵さんの質疑応答の収録があり、番組内で放映されました。

非営利目的事業 1-2 展示会・シンポジウム

ビジュアルメディアエキスポ 2016

2016年12月7日（水）
—12月9日（金）
会場：パシフィコ横浜Dブース#1
主催：アドコムメディア（株）
協賛：立体映像産業推進協議会
3DBiz研究会
最先端表現技術利用推進協会

内容：ドライブシミュレーター
表技協会会員作品の展示
カタログ展示

ビジュアルメディアエキスポ出展

国際画像機器展が併設され、例年1約6,000名の動員が見込まれます。主に映像ビジネスに携わる方面へ表技協の活動を知ってもらうために、協賛出展いたしました。併せてビジュアルコンテンツコーナーに会員展示としてフォーラムエイト（株）脳波ドライブ、（株）CRAVA VIVEシステム「Virus Crush VR」の体験デモを行いました。

表技協ブースでは、表技協HP、円融寺プロジェクトンマッピング、錦帯橋プロジェクトンマッピング、地震シミュレーター、第9回デザインフェスティバル前夜祭動画、第14回3D・VRシミュレーターコンテスト受賞作等を展示し、活動をアピールしました。

また、3Dプリンターで作成した円融寺模型を使用して昨年の大晦日プロジェクトンマッピングの様子を再現。文化財の保護活動をして

いる会社などから多くの反響がありました。脳波ドライブは、見えないものが可視化されてることから、興味を持たれる方が多く、体の不自由な方への支援を行いたいという方がおられ多様な反応がありました。VIVEシステムでVirus Crush VRを体験した人からは臨場感、没入感があり面白かったという声が多くありました。

シンポジウム URCF総会出席

2017年6月12日（月）
会場：日本科学未来館
登壇：町田聡
内容：デモ展示



表技協ブース対応人数

34社（37名）



脳派ドライブ対応人数

15社（17名）

非営利目的事業 1-3 三次元映像フォーラムとの統合

2017年9月25日かねてより協力団体であった「三次元映像のフォーラム」と統合に向けた覚書を締結。三次元映像のフォーラムがもつ研究団体としての位置付けを重視しながら今後の活動計画を以下のように目指す。（統合予定：2018年4月1日）

- ・年4回の研究会と見学会（目標：2回以上）
- ・3D映像に関する知識の普及
- ・他団体との連携
- ・会員数増加。

非営利目的事業 1-4 部会

表技協ではユーザー・クリエイター・プロダクツと部会を3分化しています。
会員同士の知識向上を目的とした勉強会を原則として毎月開催し、研究成果の発表や
企業見学、様々な専門知識を持つ会員同士が多様な視点で発表を行っています。
また、法人会員と個人会員のネットワーク作りにも重要な役割を果たし
公式サイトやメールニュースにて部会のレポートも行っています。

第8回

開催日：2016年12月12日

テーマ：バーチャルリアリティ 昔と今、そして未来—
発表者：ソフトキューブ（株）加納裕氏



第9回

開催日：2017年 1月10日

テーマ：ホロレンズ体験会及びディスカッション
発表者：サードウェーブデジノス（株）林田奈美氏



第10回

開催日：2017年 2月13日

テーマ：AR/VRはモバイルが広げる
発表者：（株）NTTドコモ 中村真之助氏



第11回

開催日：2017年 3月13日

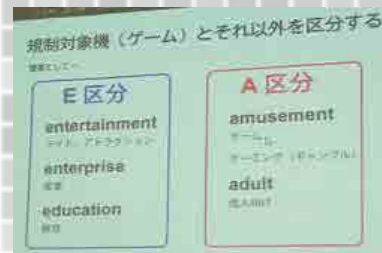
発表者：（株）NTTドコモ 中村真之助氏
テーマ：エプソン MOVERIO スマートグラスの体験会
発表者：エプソン（株）永田恭子氏



第12回

開催日：2016年 4月10日

テーマ：VRを取り巻く現在の法環境と望ましい未来について
発表者：サードウェーブデジノス（株）林田奈美氏
発表者：Game Tools & Middleware Forum 代表大和智明氏



第13回

開催日：2016年 5月15日

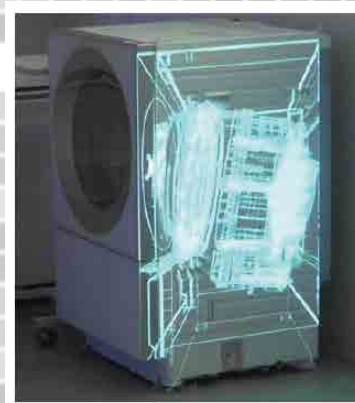
テーマ：キャノン4Kレーザープロジェクターと短焦点
プロジェクター評価体験会
発表者：キャノンマーケティングジャパン（株）門安博氏
発表者：キャノン（株）西原芳樹氏



第14回

開催日：2017年 7月10日

テーマ：プロ用360°VRカメラ最新事情について
発表者：（株）ジュエ 西條結城氏



第15回

開催日：2017年 8月30日

テーマ：Panasonic スペースプレーヤーラボ見学会
発表者：（株）スペースプレーヤーラボ 神田忠輔氏

第16回

開催日：2017年 10月13日

発表者：株式会社SUKIMOTO 鋤本浩一氏
内容：長らく東芝で放送と通信事業分野を手掛けられ、高性能ドローンのサービス事業化などにも意欲的に取り組まれている鋤本氏。現在取り組まれている事と表技協で取り組みたいテーマ「宇宙ビジネス」について発表していただきました。

非営利目的事業 1 - 6

表現技術検定（建設ICT）

現代社会で必要とされる人材育成を目的とする検定事業。
 建築・土木分野について、CIMやi-Constructionにつながる情報・知識を取得できる研修および検定を企画。表技協ではその計画を以下のように区分し、活動しています。
 今回は第4期の該当期間にあたる2016年12月～2017年11月までの活動報告をいたします。

第1期 (2015年1月-2016年9月)	第2期 (2016年10月-2017年4月)	第3期 (2017年5月-2018年3月)
国の基本政策を踏まえ企業や技術者の支援として「表技協検定」を企画。検定事業検討委員会(稲垣委員長)を設置、基本計画を策定した。	フィジビリティ調査の実施。教育人材育成事業として多くのニーズが存在する結果となった。それによって検定事業が協会の重要なコンテンツであると裏付けられた。	試験問題検討委員会を設置。外部専門家による第三者評価委員会を加える。計画検討委員会を設置。実行計画を作成。テキストの完成を目標とする。

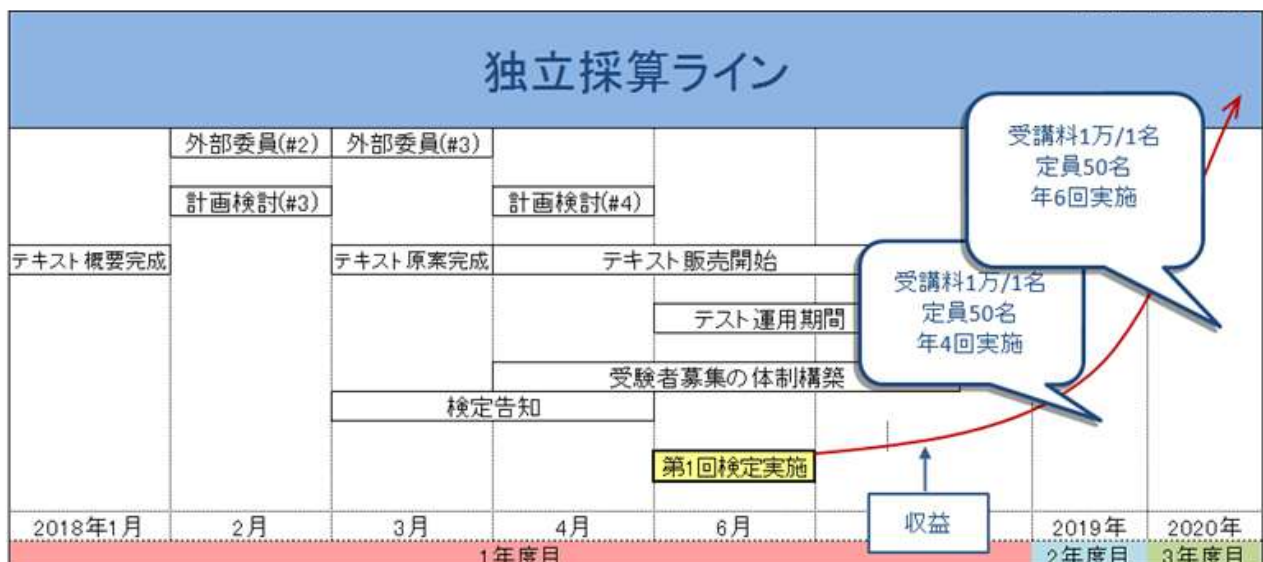
(1) 主な活動報告

2016年	12月	フィジビリティ調査実施
2017年	1月30日	第5回運営委員会
	2月13日	第6回運営委員会
	4月5日	第7回運営委員会
	7月26日	第1回第三者委員会(試験委員会)
	10月10日	第1回計画検討委員会
	11月17日	検定実施公表(フォーラムエイトデザインフェスティバル2017)

(2) 中間報告書(稲垣委員長作成)―資料2

表現技術検定第3期中間報告書を作成。計画検討委員会による実行計画を立案しました。

(3) 検定計画検討委員会 実行計画



羽倉賞設立



羽倉賞とは 表技協創設者であり3D立体映像、ホログラフィVR等,最先端表現技術の研究と普及に多大な功績をのこされた,故 羽倉弘之氏の功績を称え創設した賞です。分野を問わず「最先端の表現技術」を活用した作品や取込み,社会に貢献した功績を表彰することで表現技術の向上と,広い分野での普及に貢献することを目的としています。

題字 日向伯周

羽倉賞

羽倉賞スケジュール

2016年	10月31日	羽倉弘之会長ご逝去
	1月10日	羽倉賞起案作成
	7月1日	応募要項作成
2017年	8月1日	募集開始・公式サイトニュースリリース公開
	10月27日	審査会実施・受賞作品決定
	11月16日	第1回羽倉賞発表・授賞式



羽倉賞受賞作品紹介

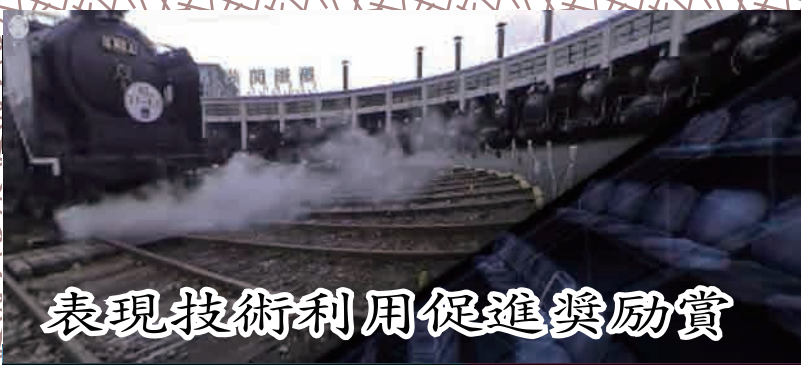
羽倉賞

受賞者：株式会社資生堂

推薦団体：一般社団法人デザイン&テクノロジー協会推薦

作品名：Tele Beauty

概要：高速・高精度の顔認識とメイキャップの仕上がりを再現するCG・画像処理技術を融合した表現技術



表現技術利用促進奨励賞

受賞者：和歌山大学 尾久土正己

推薦団体：超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム推薦

取組名：実写全天映像を使ったスポーツ・観光の新たな映像表現の普及

概要：ドームスクリーン向け実写全天映像

受賞者：和歌山大学 天野敏之

推薦団体：日本バーチャルリアリティ学会

作品名：日本橋三越本店天女像 音と光のインスタレーション

概要：光学フィードバックを用いた実時間質感操作技術



映像技術奨励賞

VR技術奨励賞

受賞者：金沢美術工芸大学美術工芸学部 中安翌

推薦団体：日本バーチャルリアリティ学会

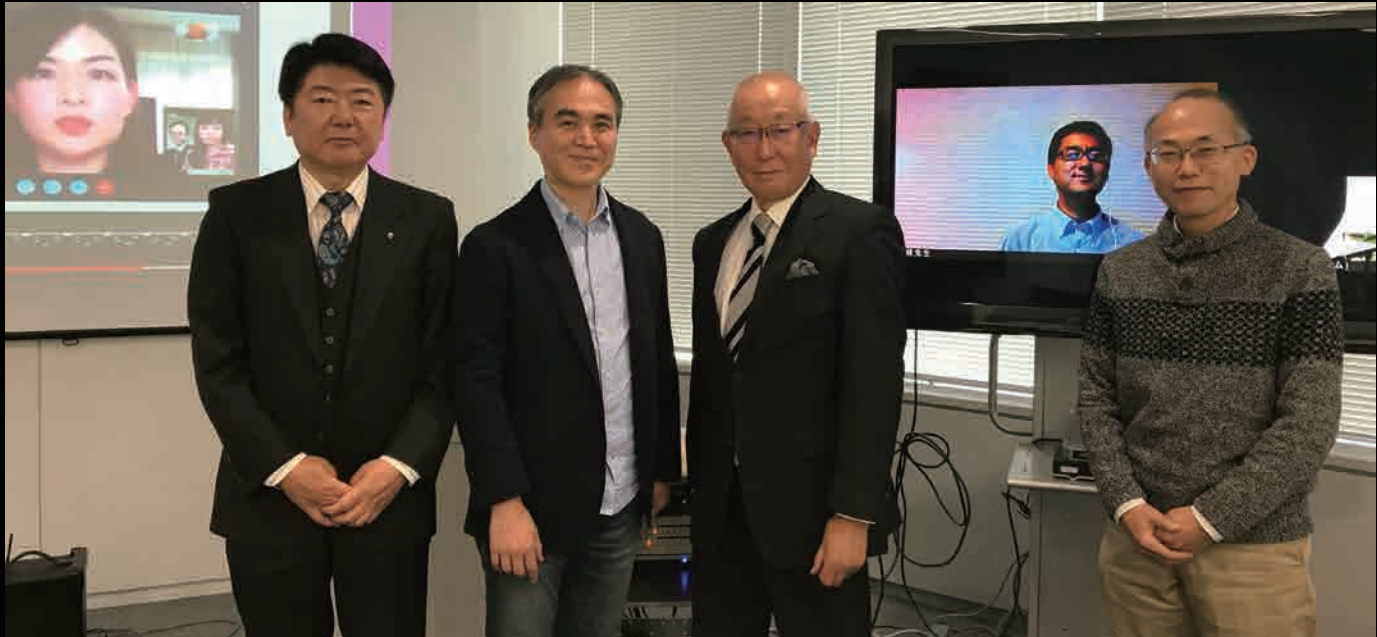
作品名：Luminescent Tentacles

概要：キネティックサーフェイスシステム

Luminescent Tentaclesは、柔らかく曲がるアクチュエータを構成要素に持つキネティックサーフェイスシステムである。

羽倉賞審査会

2017年10月27日(金)フォーラムエイト本社にて5名の審査員による選考が行われました。



表技協 理事長
伊藤裕二

表技協 会長
町田 聡

表技協 理事
川村敏郎

表技協 理事
小林佳弘

三次元映像のフォーラム代表
佐藤 誠

羽倉賞 審査員(敬称略)



審査の様子

第一回 羽倉賞

募集期間:2017年8月1日~9月30日

応募作品数:12点

協力推薦団体:4団体

応募要項—資料1

11
/
16

選考結果の発表と授賞式

募集期間:2017年11月16日10:00より

会場:品川インターシティホール

株式会社フォーラムエイト開催

「11th デザインフェスティバル2017」内にて



左から(プレゼンター)町田聡(受賞者)和歌山大学 天野敏之氏*資生堂 花原正基氏*和歌山大学 尾久土正己氏
(ご欠席)金沢美術工芸大学 中安翌氏

非営利目的事業 1-7

円融寺プロジェクションマッピング奉納

大晦日の風物詩として定着し、表技協が協賛をしてから今回で5回目をむかえた「除夜の鐘プロジェクションマッピング奉納」。舞台となる円融寺釈迦堂は、室町時代初期に建てられた東京23区の中で最古の木造建築物です。

今年のテーマは仏教の五色（ごしき：如来の精神を示す、国際仏旗で使用されている色）でコンテンツテーマは「戦隊もの」。子どもを連れたファミリー層の支持も集めました。

2016年12月12日NHK総合「あさイチ！」や2017年1月4日フジテレビ「とくダネ！」等メディアでも多く取り上げられ、その注目度の高さが伺えました。当日は約2000人の来場があり大きな混乱や事故もなく、大盛況のうちに終了する事ができました。



円融寺メディア紹介（地上波）

- 12/12 首都圏ニュース
- 12/16 L4YOU
- 12/20 あさイチ！
- 1/4 とくダネ！
- 1/4 Nスタ
- 2/3 VRフレンズ

円融寺その他メディア紹介

- 12/29 読売新聞（生活欄）
- 1/4 朝日小学生新聞
- 1/7 講談社おとなスタイル
- 1/7 (株)ジャパントイムズ JapanTimes
Yahoo! ニュース, 時事通信, 産経ニュース等

2016年プロジェクションマッピングの様子は360°VR映像のライブ中継も配信されました。
<https://youtu.be/7o9d3hagmd0>（当協会公式サイトにて公開中）

非営利目的事業 2 研究・開発

自主簡易アセス支援サイト「簡易立地診断マップ検索システム」の開発

自主簡易アセス支援サイトの新機能として「簡易立地診断マップ検索システム」を開発・公開。地域、まち作りへの表現技術利用を促進している。

非営利目的事業3 宣伝・広報活動

— 広報、宣伝活動及び会員募集 —

最先端技術の活用に関連のある学会、シンポジウム、研究会、展示会等で表技協の活動内容や展望について講演、展示等を通して広報・宣伝活動を実施。併せて会員募集も募った。



また、表技協公式HPを公開し、活動レポート等掲載を積極的に行っている。

表技協公式ホームページ : <http://www.soatassoc.org>

公式サイト 更新報告	
12月9日	プロジェクトレポート (出展報告)
12月12日	部会レポート (第8回)
12月15日	その他—熊本地震寄付について)
12月26日	ニュースリリース (円融寺)
12月31日	協会ギャラリー (円融寺・360° VR動画公開)
1月10日	部会レポート (第9回)
1月17日	その他—アンケート実施について)
2月9日	セミナーレポート (AR・S3D&VRセミナー)
2月13日	部会レポート (第10回)
3月13日	部会レポート (第11回)
4月10日	部会レポート (第12回)
5月15日	部会レポート (第13回)
7月10日	部会レポート (第14回)
7月27日	セミナー情報 (URCF実空間メディアWGセミナー)
8月1日	ニュースリリース (羽倉賞)
8月30日	部会レポート (第15回)
9月8日	セミナーレポートURCF実空間メディアWG 「実空間メディアを考えるVo1.02」
11月16日	ニュースリリース (羽倉賞発表)

収益目的事業1 コンサルティング業務

山梨県北杜市太陽光発電所環境影響評価VRデータ作成

山梨県北杜市太陽光発電所の環境影響評価についての調査結果報告に基づきその周辺環境に与える影響をVRで可視化しました。

一般財団法人 最先端表現技術利用推進協会 概要

事務局

住 所：〒108-6021 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟21F

電 話：03-6711-1955

F A X：03-6894-3888

E-mail：info@soatassoc.org

U R L：http://www.soatassoc.org/

設立趣旨・目的

本協会は、以下を支援することを目的に設立されます。

- ・最先端表現技術の調査研究
- ・最先端表現技術を活用したコンテンツ開発支援

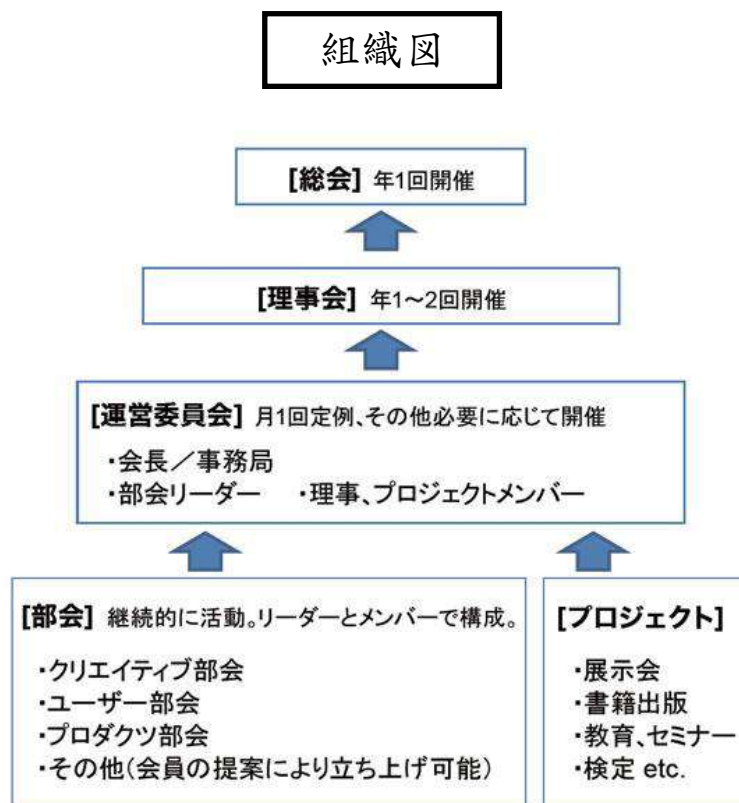
本協会は、以下を通して社会へ貢献します。

- ・最先端表現技術の技術開発者の人材育成
- ・最先端表現技術利用者（クリエイター等を含む）の人材育成
- ・そのほか新たな表現技術の活用を通じた社会貢献

本協会は、以下を通して産業と文化の融合を図ります。

- ・最先端表現技術の活用に意欲のある会員同士のマッチング

組織図



役員

- 理事長 伊藤 裕二（株式会社 フォーラムエイト 代表取締役社長）
 会長 町田 聡（アンビエントメディア代表/プロジェクトマッピング協会アドバイザー）
 評議員 武井 千雅子（株式会社 フォーラムエイト 代表取締役副社長）
 評議員 高田 寿久（株式会社 フォーラムエイト）
 理事 川村 敏郎（株式会社 フォーラムエイト 特別顧問、元 NEC 副社長）
 理事 小林 佳弘（アリゾナ州立大学 プリズム研究所 / FORUM8 AZ 代表）
 理事 稲垣 竜興（一般社団法人 道路・舗装技術研究協会理事長）
 監事 松田 克巳（株式会社フォーラムエイト 執行役員）

会員

- 法人会員：(9社)
- 株式会社 CRAVA
- シリコンスタジオ株式会社
- 株式会社 シンク・デザイン
- 四国團扇株式会社
- 一般社団法人 道路・舗装技術研究協会
- 日本フォームサービス株式会社
- 株式会社フォーラムエイト
- 株式会社富士通総研
- 株式会社 flapper3
- 個人会員：48名
- 情報会員：46名

表技協のサービス一覧

一般財団法人最先端表現技術利用推進協会 会費と会員サービス													
会員 種別	年会費	会員サービス内容											
		表技協 ホームページ掲載		メーリングリスト		セミナー		コンサルティング		設備・機材		部会参加 立上げ 提案	
		会員リス トへのリ ンク掲載	ニュース への情報 掲載	登録	会員への 情報告知	聴講 のみ	講演	マッチング (人・機材)	アドバイス	提供 可能	使用 可能 (有料)		
法人	12万円	●	●	●	●	3人	3回	●	3回	●	●	●	
個人	6000円	●	●	●	●	1人	1回	●	1回	●	●	●	
情報	3000円	—	—	●	—	無料 (1回)	—	—	—	—	—	—	

一般財団法人 最先端表現技術利用推進協会

第 4 期財務諸表

(平成 28 年 12 月 1 日から平成 29 年 11 月 30 日まで)

1. 貸借対照表
2. 正味財産増減計算書
3. 財産目録
4. 財務諸表に対する注記
5. 附属明細書

東京都港区港南 2-15-1
一般財団法人 最先端表現技術利用推進協会

貸借対照表

平成29年11月30日現在

一般財団法人 最先端表現技術利用推進協会

(単位：円)

科目				当年度	前年度	増減
I 資産の部						
1. 流動資産						
		現金預金	1,827,581	19,017,121	△ 17,189,540	
		売掛金	980,372	6,767,471	△ 5,787,099	
		未収入金	3,060,000	0	3,060,000	
		未収還付消費税等	487,970	0	487,970	
		前払費用	1,000	0	1,000	
		流動資産合計	6,356,923	25,784,592	△ 19,427,669	
2. 固定資産						
	(1) 基本財産					
		定期預金	3,000,000	3,000,000	0	
	(2) その他の固定資産					
		工具器具備品	223,000	0	223,000	
		固定資産合計	3,223,000	3,000,000	223,000	
		資産合計	9,579,923	28,784,592	△ 19,204,669	
II 負債の部						
1. 流動負債						
		短期借入金	5,000,004	5,000,004	0	
		未払金	1,612,596	5,709,660	△ 4,097,064	
		未払法人税等	69,865	69,822	43	
		預り金	132,900	206,945	△ 74,045	
		流動負債合計	6,815,365	10,986,431	△ 4,171,066	
2. 固定負債						
		長期借入金	12,083,323	17,083,327	△ 5,000,004	
		固定負債合計	12,083,323	17,083,327	△ 5,000,004	
		負債合計	18,898,688	28,069,758	△ 9,171,070	
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
		寄付金	3,000,000	3,000,000	0	
		うち基本財産への充当額	3,000,000	3,000,000	0	
		うち特定資産への充当額	0	0	0	
2. 一般正味財産						
		一般正味財産	△ 12,318,765	△ 2,285,166	△ 10,033,599	
		うち基本財産への充当額	0	0	0	
		うち特定資産への充当額	0	0	0	
		正味財産合計	△ 9,318,765	714,834	△ 10,033,599	
		負債及び正味財産合計	9,579,923	28,784,592	△ 19,204,669	

正味財産増減計算書

自平成28年12月1日～至平成29年11月30日まで

(単位:円)

科 目		当年度	前年度	増減
大科目	中科目			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益		752	750	2
	基本財産受取利息	752	750	2
特定資産運用益		0	0	0
	特定資産受取利息	0	0	0
受取会費		1,244,471	1,050,000	194,471
	正会員受取会費	1,244,471	1,050,000	194,471
	特別会員受取会費	0	0	0
	賛助会員受取会費	0	0	0
事業収益		1,970,320	11,982,044	△ 10,011,724
	セミナー事業収益	222,225	980,855	△ 758,630
	受託事業収益	679,630	11,001,189	△ 10,321,559
	その他事業収益	1,068,465	0	1,068,465
受取寄付金		3,060,000	10,500,000	△ 7,440,000
	受取寄付金	3,060,000	10,500,000	△ 7,440,000
	受取寄付金振替額	0	0	0
雑収益		289	422	△ 133
	受取利息	136	422	△ 286
	雑収益	153	0	153
経常収益計		6,275,832	23,533,216	△ 17,257,384
(2) 経常費用				
事業費		<u>7,246,486</u>	<u>17,054,354</u>	△ 9,807,868
	給料手当	2,482,464	0	2,482,464
	給与副費	12,100	0	12,100
	賞与	72,917	0	72,917
	法定福利費	475,348	0	475,348
	通勤交通費	125,366	0	125,366
	交際費	0	3,000	△ 3,000
	旅費交通費	76,568	283,278	△ 206,710
	通信費	5,163	9,990	△ 4,827
	運搬費	63,019	7,593	55,426
	広告宣伝費	739,869	1,358,640	△ 618,771
	展示会費	41,000	46,224	△ 5,224
	消耗品費	0	81,472	△ 81,472
	新聞図書費	2,371	0	2,371
	諸謝金	773,953	169,096	604,857
	業務委託費	2,163,260	9,297,005	△ 7,133,745
	外注費	212,188	5,798,056	△ 5,585,868
	支払手数料	900	0	900
管理費		<u>8,992,945</u>	<u>6,211,312</u>	2,781,633
	給料手当	2,807,652	0	2,807,652
	給与副費	6,900	0	6,900
	賞与	480,705	0	480,705
	法定福利費	430,370	0	430,370
	通勤交通費	138,985	0	138,985
	福利厚生費	0	92,527	△ 92,527
	交際費	217,778	0	217,778
	会議費	195,022	200,204	△ 5,182
	諸会費	100,000	100,000	0
	旅費交通費	0	266	△ 266
	採用教育費	3,673	7,419	△ 3,746
	通信費	21,696	25,215	△ 3,519
	消耗品費	56,484	68,603	△ 12,119
	事務用品費	1,480	5,260	△ 3,780
	修繕費	9,421	0	9,421
	水道光熱費	0	32,000	△ 32,000
	賃借料	40,798	991,944	△ 951,146
	保険料	800	0	800
	諸謝金	1,882,015	1,950,430	△ 68,415
	租税公課	10,500	1,400	9,100
	業務委託費	360,000	594,000	△ 234,000
	外注費	1,047,521	2,022,300	△ 974,779

正味財産増減計算書

自平成28年12月1日～至平成29年11月30日まで

(単位:円)

科 目		当年度		前年度		増減	
大科目	中科目						
	支払手数料	1,053,033		45,012		1,008,021	
	支払利息	128,112		74,732		53,380	
経常費用計			16,239,431	23,265,666			△ 7,026,235
当期経常増減額			△ 9,963,599	267,550			△ 10,231,149
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
	受取寄付金		60,000				
	受取寄付金	60,000					
経常外収益計			60,000	0			60,000
(2) 経常外費用							
	寄付金		60,000				
	寄付金	60,000					
経常外費用計			60,000	0			60,000
当期経常外増減額			0	0			0
他会計振替額			0	0			0
税引前当期一般正味財産増減額			△ 9,963,599	267,550			△ 10,231,149
法人税、住民税及び事業税			70,000	70,000			0
税引後当期一般正味財産増減額			△ 10,033,599	197,550			△ 10,231,149
一般正味財産期首残高			△ 2,285,166	△ 2,482,716			197,550
一般正味財産期末残高			△ 12,318,765	△ 2,285,166			△ 10,033,599
II 指定正味財産増減の部							
	受取寄付金		0	0			0
	受取寄付金	0		0		0	
一般正味財産への振替額			0	0			0
当期指定正味財産増減額			0	0			0
指定正味財産期首残高			3,000,000	3,000,000			0
指定正味財産期末残高			3,000,000	3,000,000			0
III 正味財産期末残高			△ 9,318,765	714,834			△ 10,033,599

財 産 目 録

平成29年11月30日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金 額
(流動資産)	現金	手元保管		58,796
	預金	普通預金		
		三井住友銀行		1,723,780
		目黒支店		
		ゆうちょ銀行		45,005
	品川インターシティ郵便局			
	売掛金			980,372
未収入金			3,060,000	
未収還付消費税等			487,970	
前払費用			1,000	
流動資産合計				6,356,923
(固定資産)	基本財産	預金	定期預金	
			三井住友銀行	3,000,000
その他の 固定資産	工具器具備品	目黒支店		
			223,000	
固定資産合計				3,223,000
資産合計				9,579,923
(流動負債)	短期借入金	未払金	未払法人税等	5,000,004
				1,612,596
				69,865
				132,900
				132,900
流動負債合計				6,815,365
(固定負債)	長期借入金			12,083,323
固定負債合計				12,083,323
負債合計				18,898,688
正味財産				△9,318,765

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
個別原価法
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
個別原価法
- (3) 固定資産の減価償却の方法
建物及び無形固定資産：定額法
建物以外の有形固定資産：定率法
但し、リース資産についてはリース期間定額法
- (4) 引当金の計上基準
貸倒引当金…債権の貸倒による損失に対する税法繰入限度額を上限としている。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税抜き方式によっている。

3. 会計方針の変更
該当事項無し

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
フォーラムエイト研究開発委託事業指定寄付特定資産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	—

6. 担保に供している資産
該当事項無し

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器 具 備 品	223,000	0	223,000
リ ー ス 資 産	0	0	0
ソ フ ト ウ ェ ア	0	0	0
合 計	223,000	0	223,000

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末 残高	債権の当期末残高
売掛金	980,372		980,372
未収入金	3,060,000		3,060,000
合 計	4,040,372	0	4,040,372

9. 保証債務等の偶発債務
該当事項無し

10. 重要な後発事象
該当事項無し

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
	基本財産計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産	フォーラムエイト研究開発 委託事業指定寄付特定資産	0	0	0	0
	特定資産計	0	0	0	0
その他固定資産	器具備品	0	223,000	0	223,000
	リース資産	0	0	0	0
	ソフトウェア	0	0	0	0
	その他固定資産計	0	223,000	0	223,000

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	0	0	0	0	0

平成30年1月26日

監査報告書

一般財団法人 最先端表現技術利用推進協会
理事長 伊藤 裕二 殿

一般財団法人 最先端表現技術利用推進協会

監事 松田 克巳 

私は、平成28年12月1日から平成29年11月30日までの第4期における一般財団法人最先端表現技術利用推進協会の理事の職務の執行を監査いたしました。その内容及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の内容

理事会、運営委員会及びその他の重要な会議に出席し、理事から職務の執行状況について報告を受け、関係書類の閲覧等、必要と認められる監査手続きを実施し、事業活動報告書について検討いたしました。

さらに、計算書及び関係書類の閲覧等、必要と認められる監査手続きを実施し、財務諸表について検討いたしました。

2. 監査の結果

事業報告書は、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。

財務諸表は、当協会の財務状況及び収支状況を適正に表示していると認めます。

理事の職務執行に関する不正の行為、または法令もしくは定款に違反する重大な事実は、認められません。

以上